

令和3年度 第2回CS高校部会【議事録】

- 1 趣 旨 学校（校長）が保護者や地域住民の意向を把握し、学校運営に反映させ、その協力を得つつ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。また、訓子府町のコミュニティ・スクール（CS）とのより一層の連携を図る。
- 2 日 時 令和3年 10月8日（金）18：00～
- 3 会 場 北海道訓子府高等学校 視聴覚室
- 4 構成員
 - (1) 北海道訓子府高等学校学校評議員 5名
 - (2) 北海道訓子府高等学校PTA会長・副会長 5名（2名欠席）
 - (3) 北海道訓子府高等学校関係職員 3名
- 5 次 第 （進行：教頭）
 - (1) 校長挨拶
 - (2) 本校教育活動の中間反省について（教頭）
 - 資料を基に要点を説明
 - (3) 本校における町との連携「くんねっぶ学」について（教頭）
 - 資料を基に要点を説明
 - (4) 学校魅力化に向けた取組について（教頭）
 - 資料を基に要点を説明
 - (5) スクール・ミッションについて（校長）
 - 資料を基にこれまでの経緯及び今後の流れを説明
 - (6) 意見等
 - 在校生の本校を志望した理由を把握し、学校魅力化を充実させてほしい。
 - ふるさと教育では、生徒たちが主体的に行動していて良かった。今後も発展させてほしい。
 - 養蜂体験にとどまらず、養蜂部を立ち上げるなどより全面的に探究的な活動などができれば良いと思う。また、そういう経験が自信につながると思う。
 - 商工会とのパイプを構築し、生徒の活動をとおして特産品を開発することを検討してほしい。
 - 町の特産品に学校名が記載されることで、知名度も上がり宣伝効果も大きいと感じる。
 - 学校には、子どもたちがつまずいても他の生徒や先生方のおかげで戻っていける環境があるのでとても素晴らしい。
 - 学校には、子どもたちが生き生きと過ごし、互いに助け合える雰囲気があるのが良い。
 - スクールバス（北見市西地区方面）があることで、確実に本校を志望する生徒の選択肢が増えると思う。
 - 一部の中学生が、マラソン大会がない高校を受験選択しているということもあり、マラソン大会を他のスポーツ行事に変更することも考えてはどうか。
 - (7) その他
 - ・公開授業週間（10月11日（月）～15日（金）午前中）
 - ・町長による講演会（10月14日（木）14:00～本校体育館）